



令和4年3月24日（木）発行

学校だより No.17



沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》 ○ 向学 ……自ら学ぶ生徒
○ 礼節 ……思いやりのある生徒
○ 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を育てる教育活動の推進～」

「第56回沼田西中学校 卒業証書授与式」を振り返る

56年の歴史を誇る沼田西中の卒業証書授与式が3月11日（金）に行われました。当日は、3年生の卒業を祝うかのような晴天のもと、3年生が希望を胸に巣立っていきました。本年度も新型コロナ感染対策のため、縮小した形での開催となり、1・2年生は各教室でのリモート参加となりましたが、3年生の立派な態度と教室での1・2年生の真剣な態度、そして保護者の皆様の我が子の卒業を心から喜ぶ温かな心、また私たち教職員も心を込めて3年生を見送り、それら全てが重なり合って厳粛な中にも温かい雰囲気にも包まれた大変素晴らしい卒業式となりました。

この素晴らしい卒業式の良き伝統を、是非来年度以降も引き継いでいきましょう。



《卒業生への感謝 ～新生徒会長からの送辞～（一部抜粋）》



今、先輩方と過ごしたこの2年間を振り返ってみると、いつも元気いっぱい笑顔で私たちを導いてくれた数々の場面が思い出されます。部活動では技術面だけでなく挨拶や礼儀、仲間と協力することの大切さ、そして自分を信じひたむきに努力することの意義を教えてくださいました。言葉だけではなく先輩方の背中から、私たちはそれらの大切さ一つ一つを学ぶことができました。

私たち在校生にとって今年初めて実施された中学校での運動会や西中祭では、先輩が先頭に立ち、リーダーシップを発揮してくださり、3年生の圧倒的な団結力を見せてくれました。点数が僅差で、私たちが勝てそうな時もありましたが、気迫と団結力の面では全く及びませんでした。そして、2学期の終業式で披露して頂いた、皆さんの合唱。力強い男声パートと透き通るような女声パートが響き合う「あなたへ」、まさに今日この日を歌った「旅立ちの日に」。初めて聴いた3年生全員の合唱に言葉では表せぬ感動を覚え背中が震えました。そして感動の後に私たちが思ったことは、「来年は、私たちも先輩のように歌いたい」ということです。

先輩方皆さんがこれから歩いていく道には、多くの希望と輝かしい将来があると思います。それと共に乗り越えなければならない様々な困難や試練に直面することもあるでしょう。しかし、この3年間沼田西中学校で紡いだ仲間との思い出やたくさんの学びが、先輩方を前に進ませてくれる原動力となり困難を乗り越えていけると私たちは信じています。これまで通り自分を信じ自分の道を切り拓いていってください。

令和4年3月11日 在校生代表 平井音乃楓

《たくさんの思い出と希望を胸に ～卒業生代表の答辞～（一部抜粋）》



この沼田西中学校で勉強や部活動、様々な学校行事を通して私たちはたくさんのことを学び、大きく成長することができました。

期待と緊張でいっぱいだった1年生。新しい仲間と出会い、仲良くなれるか不安でしたが、すぐに打ち解けることができ、今では大切な仲間になっています。

中学校生活に慣れてきた2年生では、新型コロナウイルスの感染拡大のため、たくさんの学校行事が中止になりました。そんな中でも、当時の生徒会本部役員の方々が運動会の代わりとして企画してくださった西中祭は、とても良い思い出になりました。

そして、3年生。実行委員会が立ち上げられ、競技種目から自分たちで決めた運動会と西中祭は、自分たちで一から作り上げる大変さと完成したときの達成感、そして皆で協力して全力で取り組むことの楽しさを学ぶことができました。また、修学旅行の代わりに行った新潟旅行では、自分の頑張り、友達の良さ、新潟を通しての群馬や沼田の良さを発見することができました。コロナ禍で感染対策に毎日気を使う学校生活でしたが、それでも私たちは、友達と楽しく過ごし、できる限りの力をつくして、部活動などに取り組む、たくさんの思い出をつくることができました。

あっという間に過ぎていった中学校での3年間は、それらたくさんの思い出がぎっしり詰まった一生の宝物です。私たち54人は4月からそれぞれの道に進みます。しかし、この学校で学んだ多くのことを活かして私たちらしく躍進していきます。

令和4年3月11日 卒業生代表 青柳はるか

充実した春休みが新年度の良いスタートに繋がる

4月になると、1・2年生それぞれ学年が一つずつ上がります。4月になれば自動的に学年が上がると安易に考えるのではなく、あさってから始まる春休みをしっかりと過ごすことで、学年が上がるのに相応しい力や態度を身につけてほしいと思います。そして、毎年3年生が乗り越えてきた入試等の進路が、1年後・また2年後に待っています。時間はあっという間に過ぎてしまいます。一日一日を大切に自分の力を伸ばすために努力を積み重ねてほしいと思います。

では、どのように春休みを過ごすことが充実した春休みになるのでしょうか。それは、**本年度の重点テーマの「3つの気（やる気・勇気・根気）」を春休みでも実践することです。**春休みは、1年間の最後の長期休業ですから、1年間で身につけた力を大いに発揮できる休みです。具体的には、

- ① 1年間の学習内容の復習や新学期に備えて規則正しい生活に、「やる気」をもって主体的に取り組むことが大切です。
- ② 春休みは、自分で過ごす時間が増え様々な誘惑もありますので、「勇気」をもって正しく判断し、また家の手伝いや部活等で友達と協力し合って支え合うことが大切です。
- ③ 上記①・②に「根気」強く取り組むことが大切です。そのために、春休みが終わった時、どんな自分になっていたいか、という目標を立て、それに向かって粘り強く取り組んでいきましょう

この3つに取り組むことで充実した春休みを過ごし、新年度の良いスタートにつなげていきましょう！



1年間、大変お世話になりました

昨年度に引き続き本年度も、新型コロナウイルス感染防止のため様々な教育活動が制限される中、感染予防を徹底し生徒主体の活動を工夫して実践することや、保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力の賜と深く感謝申し上げます。誠に有り難うございました。また、本年度の成果や課題を踏まえ、更に生徒の力を伸ばせるよう職員一丸となって取り組んで参りますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

《コラム～校長室より・校長の独り言～》

4時間目が終了し給食室の手前で手指消毒をしていると、給食室の中が少し混み合ってきました。すると、その様子を見た各クラスの給食当番の人達が、手前の廊下の壁際に1列で並んで順番を待ち、給食室の中が密にならないようにしていました。

これを見て「なんて素晴らしい判断だろう！」と感心しました。主体的に正しい判断をしてお互いが助け合えることは、とても素晴らしいことです。

今年の重点目標である「**勇気＝弱い自分に負けず正しい判断をして人を大切にする思いやりの心**」がしっかり身につけている姿でした。

3年生が卒業しましたが、3年生が創ってくれた伝統を引き継ぎ発展させ、今後も、西中がたくさんの勇気で溢れる学校にしていきたいです。

